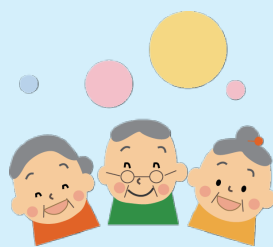


生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信

鉄西・幌北・北・新琴似 地区版



2020年



第11号

新型コロナウイルス感染症の影響拡大により被害にあわれた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で、国民全体が自粛を余儀なくされる日々が続いております。政府からの緊急事態宣言全面解除の報を受けても尚、未だ完全な終息への道筋は見えてこない状況です。

コロナ禍で、これまでの生活が一変したという方もいらっしゃると思います。外食や買い物に出掛ける、花見をする、ご近所の会合に参加するなど、日常生活の中でごく当然にできていたことができなくなり、これまでの“当然”が、とても“ありがたい”ものであったのだと実感いたしました。

国から公表されている「新しい生活様式」に基づいて、感染対策を十分に講じた上で、地域活動を再開していきたいと思っております。

生活支援コーディネーターの役割を説明するチラシを新たに作成しました!!

これまでの活動の中で、地域の皆さまから、「生活支援コーディネーターって、何をする人なの?」「役割がよくわからない。」という声が数多く聞かれました。

そこで、生活支援コーディネーターの役割や存在意義をよりわかりやすく説明した、新たなチラシを作成いたしました。地域の中で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手を養成することを担う生活支援コーディネーターに、一層の親しみと感心を寄せていただけたらという想いを込めました。

今後皆さまの元にお伺いする際に、持参させていただこうと思っております。

よろしく
お願いします



生活支援
コーディネーター
って、なに?





ボランティア活動者へのインタビュー

「北区生活応援ボランティアの会」「日常生活支援たすけ愛 きたく・ふくろう」という2つの有償ボランティアグループの代表として活動されています、幌北地区在住の石田修（いしだ おさむ）さんにお話を伺いました。

Q. 活動をしていて良かったことはどのようなことですか？

A. 利用者の方から、笑顔で「ありがとう。」とっていただくことが何よりうれしいです。やりがいと充実感をいただいて、こちらこそありがとう、という気持ちになります。自分たちの活動が、地域包括ケアシステム実現の一助となれば幸いです。

Q. どのようなボランティア依頼がありますか？

A. 定期的なゴミ捨てや清掃、外出の付き添い、買い物代行、脚立を使う高所作業等、様々な依頼が寄せられます。最近、高齢者の方からご自身の“終活”を見据えて、不要になった衣類の処分依頼がありました。一着一着の服にまつわる思い出話に耳を傾けながら、仕分けのお手伝いをさせていただきました。

Q. これからの活動に関して想いをお聞かせください。

A. 現在コロナウイルスの影響で、活動が保留になっているケースもありますが、たとえこの状況下でも自分たちが行かないと困る方がたくさんいらっしゃいます。お体が不自由で、近くに頼れる身内もないという方にとっては、我々の支援が生きることに直結するため、休むわけにはいきません。本来、ボランティア依頼はなるべく断りたくありません。どうすれば断ることなく、その方を支援して差上げられるかをいつも考えます。認知症を抱える方への支援も増え、多種多様な人間同士が共生しているこの社会で、その方にあつた寄り添い方を考えて活動を継続していきたいです。



北区生活応援ボランティアの会
日常生活支援たすけ愛 きたく・ふくろう

代表 石田修さん

日常生活の中で、ちょっとした困りごとはありませんか？お気軽にご相談ください。お手伝い致します。

一緒にボランティア活動をしていただける仲間も随時募集しております。



直通携帯電話番号
090-3778-5679

「生活支援コーディネーター」は、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していく、地域における調整役です。地域の皆さまと共に身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりを進めてまいります。

今後とも老人クラブやサロン、単位町内会等、地域の皆さまの集まりや活動に参加させて頂きたく思っております。

生活支援体制整備事業に関する説明やボランティア講座等をご希望の方は、お気軽にお問合せください。



地域のあたたかい見守りを応援している、ふれあいの妖精まも。

札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階

TEL: (011) 757-2482

FAX: (011) 737-7270

えちご生活支援コーディネーター 越後

